

中古ドメイン活用・選定方法

ここでは、中古ドメインの活用方法について説明します。

ブログアドセンスで稼ぐうえで、ドメインはとても重要です。

ドメインは大きく二つに分かれます。それは、新規ドメインと中古ドメインです。

それぞれ特徴を以下に示します。

・新規ドメイン

文字通り、ネット上で初めて稼働させるドメインのことです。メリット、デメリットは以下の通り。

◆メリット

・日本語ドメインを取得できる ・まったくのゼロから構築するため、ペナルティを受けていることや質の低い被リンクを受けている 恐れがない

◆デメリット

・まったくのゼロから記事を投稿していき構築してくため、SEOパワーが上がり、記事が上位表示されるまでに時間がかかる

では、メリットが説明していきます。

まず、1つ目。

日本語ドメインを取得できる。ですが、新規ドメインは自分でドメイン名を決めることができます。

もちろん英字でもいいのですが、せっかくドメイン名を決める権利があるのですから、ここは日本語ドメインで取得したいところです。

というのも、日本語ドメインであれば、Google に、「このブログはこのテーマに特化した記事を書いていきますよー」と明確にアピールできるからです。

例えば、「AKB48 ファン.com」というドメインを取得すれば、Google は、「あ!このドメインではAKB48 をテーマに記事を書いていくんだな」ということがわかります。

そうすることで、AKB48 に関する記事が上位表示されやすくなるのです。

そして、2つ目。被リンクについてですが、これはまた後ほど説明しますが、原則として他ドメインから多数のリンク を受けておれば、それだけ SEO パワーは上がり、上位表示されやすくなります。

リンクを送られているということは、それだけ他サイトから引用参照されているということですから、価値の高いブログづくりをしているという証拠だからです。

ですが、リンクをたくさん受ければいいというわけではありません。リンクにも質があります。

例えば、アダルトサイトからのリンクを受けていると、そのドメインでアダルト系コンテンツを量産していくならまだしも、そうでないなら、いくら記事を書いても上位表示されないということが起こり得るのです。

その意味で、リンクには質があるのです。ですが、新規ドメインの場合は、その心配がありません。

まったくのゼロから構築していくわけですから、記事を量産していきネット上で自分のブログが目立った時、そのブログ内の記事を良記事と判断したユーザーからナチュラルな良質なリンクを受け取ることができます。

しかし、デメリットもあり、新規ドメインは SEO パワーが上がるまでにどうしても月日という時間がかかってしまうのです。

半年間無収入は当たり前で、下手をすると1年間無収入になってしまう可能性すらあります。

では、中古ドメインはどうか。そのメリットとデメリットを説明します。

・中古ドメイン

◆メリット

- ・すでにドメインエイジ(ドメインが取得されてから経過した年月)があり、また過去にそのドメインで記事が投稿されていたため、改めて記事を投稿していくと、すでにある程度 SEO パワーが強いために上位表示されやすい

◆デメリット

- ・取得するのにお金がかかる
- ・悪質なリンクを受けている恐れ、Google ペナルティを受けているドメインの恐れがある。

まず、メリットから説明していきましょう。

さきほど説明した新規ドメインは稼げるのに時間がかかりますが、中古ドメインはすでにドメインエイジがあり、すでに SEO パワーがある程度高いため、上位表示し、そして収入を得るまでにかかる時間が相当短くなる可能性を秘めています。

一方、デメリットです。

上記の通り、魅力的な可能性を秘めている中古ドメインですが、これを取得するには新規ドメインよりも数倍、数十倍のお金を要します。

資金に余裕のない人は取得が難しいかもしれません。

ですが、その金額も別に数十万円とかするわけではなく、1つのドメインにつき高くても数万円です。

2万円も出せば、かなり優良なドメインを取得することができるので、2万円でインデックススピードが速い、SEOパワーの強いドメインが手に入ると思えば、安い買い物なのではないかと思います。

ですが、リンクの質は保障されていません。デメリットの2つ目ですね。

新規ドメインよりも高いお金がかかったのにも関わらず、中古ドメイン購入してみたら、なかなかインデックスされない、それどころか、Googleペナルティを受けているドメインじゃないか。ということは割とあるあるです。

これは購入前に販売業者サイトから、ある程度回避できますが、それでも100%回避できるということは言えません。

やはり、実際に中古ドメインを購入してから初めて気づく。というのが実態です。

ですので、ここは人それぞれ、そういうリスクがあることを承知でお金を必要不可欠初期投資費用として投入するか、それとも、新規ドメインで地道にコツコツ記事を積み上げていくか。人それぞれ変わってくる部分です。

- ・おすすめの中古ドメイン業者

新規ドメインか、中古ドメインかどちらでブログ運営していこうかと悩んだ末、中古ドメインを購入することに決めたら、中古ドメイン業者を選定しなければなりません。

しかし、中古ドメイン業者と言っても有象無象おります。

以下にその一部を記します。

<https://www.topshelfequestrian.com/>

<http://wolf-domain.com/>

<https://thefelsenetwork.com/>

いかがでしょうか。

たった3つの中古ドメイン販売業者だけでも、いったいどこの業者から買えばいいのか、また業者の中でもどのドメインを購入すればいいのか、さっぱりわからないと思います。

そこで、私からおススメの中古ドメイン業者をご紹介します。
それがこの[中古ドメイン](#)です。

このアクセス中古ドメインさんの何がいいかというと、購入後、そのドメインが Google ペナルティを受けていたら、きちんと返金してくれるところです。

またドメインも販売する前に多方面から精査しているので、安心感が他業者と比べ違うのです。

私はこの業者から中古ドメインを購入しているのですが、実際そのドメインでブログを構築し、記事を投稿していったところ、記事投稿翌日にインデックスされ、なおかつとあるキーワードでいきなり検索順位8位を叩き出しました。

ちなみに、購入費用は25000円のゴールドランクのドメイン。ドメインエイジが16年とかなり長く、16年という月日が25000円で買えるなら安いものだ。と思い購入しました。

日本語ドメインほどではないですが、ブログタイトルとブログ記事内のキーワードを通して、Googleにどのようなことをテーマにしたブログなのかを認知させることは可能です。

ぜひ活用してみてください。

ただ、このアクセス中古ドメインでも、ドメインの強さを表すいろんな指標があるけども、どのドメインがいいのかわからないと思います。

いろいろ自分で購入してみて試すというのが一番良いのですが、参考基準として実際の中古ドメインの選び方についてこちらの動画をご覧ください。

要点がまとめられているので引用させていただきました。

◆アクセス中古ドメインにおける中古ドメインの選び方

↳ <https://www.youtube.com/watch?v=6E3ITVjhqi8&feature=youtu.be>

(引用元:荒木達也さん提供 <https://affiligoto.com/>)

簡単に中古ドメイン選定基準を説明すると・・・

- ・ **CF** と **TF** の **数値が拮抗**してること
- ・ 被リンク数が**100 本以下**・できればゴールドドメインがよいが、ブロンズやシルバーでもよく、**ランクはそれほど最終的には影響しない。**

⇒結局上位表示させるためには、**記事コンテンツカ**(ユーザー検索意図が満たされていることや、書き手オリジナルの発想・感想・切り口で情報が提供されていることなど)がモノをいう。

中古ドメイン購入後の手続きとして、そのドメインを運用するサーバーの**ネームサーバー(=DNSサーバー)**とドメインのネームサーバーを変更&一致させる、そして**Whois 情報**を変更する必要があります。

<https://ja.pure-domains.com>

にアクセスにいただき、購入したドメイン名の「設定」ボタンをクリックし、「ネームサーバ設定」をクリック。

ネームサーバ設定

※Pure domain の設定について、つまずいてしまう人もいるので、参考資料を掲載しておきます。

<https://communityserver.org/contents/3305/>

たいがいのことは検索したら出てきますので、つまずいたら検索してみてください。

「pure domain設定」や「アクセス中古ドメイン設定」と検索すると、たいがいのことは出てきます。

さて、wpx サーバーを使用している場合は wpx 管理画面の「ドメイン管理」 - 「ドメイン追加設定」 - 「ドメイン追加」 - 「他社管理のドメインを追加する」をクリックした時に出てくる Whois 認証の欄にある「指定ネームサーバー」の文字列を入力します。

■ Whois認証	
指定ネームサーバー	ns1.wpx.ne.jp ns2.wpx.ne.jp ns3.wpx.ne.jp
手順	1) 指定ネームサーバーを全てご設定ください。 2) ドメイン追加の『Whois認証』を選択してドメインを追加します。 ※ネームサーバー変更後、反映が浸透するまで数時間~24時間程度かかる場合があります。

通常、

ns1.wpx.ne.jp

ns2.wpx.ne.jp

を NS1、NS2 それぞれに入力して、「確認」をクリックして前に進めてください。

他社サーバーを使用している場合は、そのサーバーのネームサーバーを入力してください。次に、「whois 情報編集」をクリックしてください。



「登録者情報」を入力して、『入力/修正した「登録者情報」を「管理担当者情報」「経理担当者情報」「技術担当者情報」にも貼り付け』をクリックして、「確認」をクリックして、「実行」をクリックしてください。

以前のドメイン使用者から情報変更にもなう承認がされるまで、多少時間がかかりますので、お待ちください。

承認されましたら、購入ドメインのステータスが「有効」に変わりますので、



「有効」になりましたら、「WordPressブログの作り方」をご覧ください、中古ドメインをサーバーに追加して、WordPressをインストールしてください。

もし、中古ドメイン購入後の操作が分からない場合は、こちらのページを参考にしてください。

<https://communityserver.org/contents/2320/>

以上です。